

第3章 品詞論

形容詞～動詞

1

形容詞、形容動詞

2

<形容詞の特徴>

⇒ 名詞を修飾するとき になる

⇒ 日本語文法では「い」と呼ぶ

例) 小さい町、高い山、安い靴

※ 「存在」を示す「ある」「ない」品詞は?

「ある」…

「ない」…

例) 私の本がない。

3

<形式(補助)形容詞の特徴>

⇒

・ に付く 例) 早く帰るがよい。

・ に付く 例) 来てほしい、聞いてない

・ に付く 例) 高くない、静かでない

5

1

<形容動詞の特徴>

名詞を修飾するとき になる

⇒日本語文法では「 」と呼ぶ

例) きれいな町、静かな部屋

⇒語幹が が多い

例) 便利な、素敵な、クールな、シンプルな

7

<形容詞、形容動詞の用法>

1. →

例) 京都は 美しいです。 京都は にぎやかです。

2. →

例) 京都は 美しい町です。

京都は にぎやかな町です

8

8

※特殊な例「多い」と「少ない」

 : 「人口が多い。」 「多い人口」

×「多い人」 ○「多くの人」 ※

1.

例) その町には多くの人が住んでいる。

2.

例) 多くの人が賛成した。

9

9

「AはBがC(だ)」の構文

例: 「象は鼻が長い。」 ()

「トムさんは足が速い。」 ()

「私は新しいパソコンがほしい。」 ()

「私は 映画が 好きだ。」 ()

11

11

2

<連体形が特殊な形容動詞>

① ② ③

④ ⑤

※

- ・ 名字が同じなので、よく間違えられる。
- ・ 成績がこんななのに、よく遊びに行けるわね。
- ・ 同じなのがいい。

13

令和3年度

試Ⅲ－8

問題3 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

日本語教育においては、形容詞は、イ形容詞とナ形容詞に分類される。これは、
 (ア) による分類である。^Aイ形容詞とナ形容詞を混同すると誤用が生まれる可能性がある。
 形容詞には、活用の一部が特殊なものがある。例えば、「(イ)」は、ナ形容詞であるが連体形が例外である。「(ウ)」は、単独では名詞の前で用いることができない。
 また、「大きな」「小さな」は、名詞を修飾する際に「～な＋名詞」になるが、^B一般的な
 国語辞典では、^C連体詞とされている。

形容詞は意味的に属性形容詞と感情形容詞に分類され、感情形容詞には、人称制限と呼ばれる現象が見られる。これらの他にも指導の際に必要な形容詞の特性がある。

18

問3 文章中の(イ)と(ウ)に入れるのに最も適当な組み合わせを、次の1～4の中から一つ選べ。

	(イ)	(ウ)
1	同じだ	多い
2	同じだ	面白い
3	いろいろだ	多い
4	いろいろだ	面白い

19

19

問4 文章中の下線部Bの理由として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 「大きな」「小さな」は「大きい」「小さい」というイ形容詞があるため
- 2 「大きな」「小さな」はイ形容詞と同じように活用するため
- 3 「大きな」「小さな」はナ形容詞とは異なり、活用しないため
- 4 「大きな」「小さな」は連体形と終止形しか活用形がないため

21

21

3

<感情形容詞、属性形容詞>

※ここでの「形容詞」は、形容詞と形容動詞両方を指す

① : を表す

例) 楽しい、悲しい、楽だ、心配だ、
好きだ、嫌いだ、得意だ、ほしい



② : を表す

例) 高い、明るい、有名だ、便利だ、まじめだ、
きれいだ、美しい、おいしい、愛らしい



23

●感情形容詞には、

⇒

例) 1人称: 私は 嬉しい。⇒

3人称: トムは 嬉しい。⇒

トムは

⇒○

※2人称: あなたは 嬉しい。



24

※ 好きだ、嫌いだ、得意だ、苦手だ

⇒ 感情形容詞だが、

例) 3人称: トムは 桃が 好きだ。⇒ 不自然

好きがっている。⇒ ×

⇒ ○

25

助動詞

30

30

4

<助動詞の特徴>

- ・付属語で
- ・用言や体言に付いて、色々な意味を付け加える
- ・ポイント① ② ③

「だ」で終わる助動詞⇒

例) そうだ⇒そうだろう、そうだった、そうならば

「い」で終わる助動詞⇒

例) ない⇒なかろう、なかった、なければ

31

31

「のだ、わけだ、はずだ」を助動詞に含んでいる

学校文法では・・・

「のだ」:準体助詞(名詞の代わりの「の」)
+断定の助動詞「だ」

「わけだ」「はずだ」:形式名詞「わけ」「はず」
+断定の助動詞「だ」

32

32

「う、よう」

意味: : 接続: 動詞の未然形

活用: 無変化型(語形変化しない)

【推量】の例: 明日は 暑かろう。

現代では「明日は 暑いだろう。」の方が自然

⇒ +

33

33

「た、だ」 ※ で「だ」になる

接続: 動詞の連用形

活用: 特殊型

- 意味:
- 例) 昨日、公園に行った。
 - 例) 今、終わったところです。
 - 例) 冷えたビール・壁にかかった絵
 - 例) これは君のだったね。
 - 例) 富士山に登ったことがある。

35

35

5

「ない」

意味: 否定、打ち消し、依頼(相手に頼む)、勧誘

接続: 動詞の未然形 活用: イ形容詞型

・ 品詞の区別

何も言わない。⇒

珍しくない ⇒

私の本がない。⇒

大人げない ⇒

37

「たい」

意味: 希望 接続: 動詞の連用形 活用: イ形容詞型

・ 形容詞との区別に注意

例) 行きたい ⇒

眠たい、重たい ⇒

例) 私は寿司が(を) 食べたい。

39

39

・

⇒ |

例) 1人称: 私は ハワイに 行きたい。⇒○

3人称: トムは ハワイに 行きたい。

⇒小説の中では○だが、実際の会話では不自然

トムは ハワイに

, ⇒○

2人称: あなたは 行きたい。



40

40

伝聞の「そうだ」

接続:

活用: ナ形容詞型

例) 東京は晴れだったが、大阪では雨が降ったそうだ。

様態・推定の「そうだ」

接続:

、形容詞・形容動詞の語幹

例) あしたは暑くなりそうです。

例) 今にも雨が降りそうです。

44

44

6

「ようだ」

意味:

接続：動詞の**連体形**、名詞+格助詞「の」、連体詞（この等）

活用：ナ形容詞型

例) 午後から晴れるようだ。 ⇒

彼のような人になりたい。⇒

まるで妖精のようだ。 ⇒

46

「らしい」

意味：推定、伝聞 接続：終止形 活用：イ形容詞型

- 推定 ⇒

例) どうやら／どうも あの学生は文法が苦手らしい。

- ・ 伝聞 ⇒

※聞いた情報をもとに推測する時に使うことが多い

例) 森先生によると／の話では、あの学生は8月に退学するらしい。

4

「だ」

意味： 接続： 活用： ナ形容詞型

例) 今の話は、事実だ。／である。／です。

雪なのに試合が行われた。

•

- ・ **名詞**にしか**接続しない**ので、助動詞ではなく「**存在詞**」とも（山田文法「**存在詞**」、三上文法「**準詞**」）

・言語学では と呼ばれる

51

- ・ 形容動詞との区別に注意

例) この店は、静かだ。⇒ 形容動詞の活用語尾

•

⇒

⇒ 話し言葉では、

例) あしたは休みます。家族が日本へ来るんです。

5

「れる／られる」

接続: **未然形** 活用: 下一段型

意味: 例) 先生にほめられた。
 例) 納豆が食べられない。

※ に注意!

例) 子どもの頃のことを思い出される。

例) 部長はさっき帰られました。

53

53

「新しい国語表記ハンドブック 第8版」P236 敬語の指針 参照

5種類		3種類
尊敬語	「いらっしゃる・おっしゃる」型	尊敬語
謙譲語Ⅰ	「伺う・申し上げる」型	謙譲語
謙譲語Ⅱ (丁重語)	「参る・申す」型	
丁寧語	「です・ます」型	丁寧語
美化語	「お酒・お料理」型	

54

敬語

● 尊敬語※49課
(上司などのこと)

①
(めしあがります
いらっしゃいます)

②
(お話しになります)

③
(話されます・来られます)

● 謙譲語※50課
(自分のこと)

①
(もうします・いたします)

②
(お持ちします)

(ご説明します)

55

「せる／させる」

意味: 接続: **未然形** 活用: 下一段型

例) 息子を塾に行かせた。生徒に意見を言わせた。

・ **動詞との区別に注意**

例) 乗せる、寄せる ⇒

書かせる、読ませる ⇒

見分け方:

57

57

8

「ぬ(ん)」の識別

意味： 接続： 活用： 特殊型

例) 何も言わぬ。 京には見えぬ鳥

未然	連用	終止	連体	仮定(已然)	命令
打ち消し「ぬ」	○	ず	ぬ(ん)	ぬ(ん)	ね

59

59

「ぬ(ん)」の識別

意味： 接続： 活用： ナ変型

例) 花散りぬ。

未然	連用	終止	連体	仮定(已然)	命令
完了「ぬ」	な	に	ぬ(ん)	ぬる	ぬれ

60

60

推量「む(ん)」

意味： 接続： 活用： 四段型

例) 少納言よ、香炉峰の雪いかならむ。

未然	連用	終止	連体	仮定(已然)	命令
○	○	む(ん)	む(ん)	め	○

61

61

日本語教育能力検定試験 平成29年度 試験Ⅰ 問題Ⅰより抜粋

(8) 【助動詞の意味】

- 1 風立ちぬ
- 2 招かれざる客
- 3 転ばぬ先の杖つえ
- 4 なきにしもあらず
- 5 見て見ぬふりをする

62

62

9

日本語教育能力検定試験 令和4年度 試験Ⅰ 問題Ⅰより抜粋

(12) 【助動詞の意味】

- 1 見て見ぬふりをする。
- 2 美しさに思わず息をのむ。
- 3 すぐにやらねばならない。
- 4 知られざる真実を解明する。
- 5 あらん限りの力を振り絞る。

67

67

<助動詞相当の表現（準助動詞）>

- ～てはいけない（禁止）
- ～なければならない・～ざるをえない（義務・必要）
- ～てもいい（許可）
- ～てください（依頼）
- ～にちがいない（確信）
- ～かもしれない（可能性）

69

69

動詞

73

73

<動詞>

- 動詞の基本的な働き⇒
- 様々な動詞の分類
 - ・ 活用の点から
 - ・ 意味、文法的働きの点から
 - ・ アスペクトによって ⇒ 第4章

74

74

10

<動詞の分類（活用）> ※資料参照

国語文法:

日本語文法:

話さない (hanas-anai)
 話します (hanas-imasu)
 話す (hanas-u)
 話せば (hanas-eba)
 話そう (hanas-ou)

75

75

国語文法:

日本語文法:

起きない (oki-nai)	教えない (oshie-nai)
起きます (oki-masu)	教えます (oshie-masu)
起きる (oki-ru)	教える (oshie-ru)
起きれば (oki-reba)	教えれば (oshie-reba)
起きよう (oki-you)	教えよう (oshie-you)

76

76

国語文法:

日本語文法:

しない (shi-nai)	こない (ko-nai)
します (shi-masu)	きます (ki-masu)
する (su-ru)	くる (ku-ru)
すれば (su-reba)	くれば (ku-reba)
しよう (shi-you)	こよう (ko-you)

77

77

<動詞の分類（意味・文法的働き）>

⇒ 単独で用いられる動詞

⇒ 2つの動詞が結びついて1語になったもの

- ・ を表す: ~始める、~出す、~かける
- ・ を表す: ~続ける、~通す
- ・ を表す: ~切る、~上げる

78

78

11

※『基礎日本語文法 第3版』P17 まとめ

•統語的(文法的)複合動詞

⇒前項に種々の動詞をとることができる

①

例) 食べ始める、食べ終わる

②

例) 読み切る(完了)、降り出す(開始)

•語彙的複合動詞

⇒前項に現れる動詞に限られる

(前項と後項の動詞の意味的な結びつきが強い)

例) 受け継ぐ、語り継ぐ、折り曲げる、抜け落ちる、慣れ親しむ

79

本動詞	補助動詞
例) 本を置く。	例) 本を買っておく。
	- を表す: ている、てある、ておく、てしまう - を表す: てあげる、てくれる、てもらう - を表す: ていく、てくる - を表す: てみる

81

<可能動詞>

- + [e-ru]の形

例) 読める、書ける、行ける、会える

- + 助動詞「られる」

例) 見られる 起きられる 食べられる

-

82

82

<移動動詞>

-

例) 歩く、走る、通る、渡る、飛ぶ、出る など

-

(そのため、他動詞と間違えやすい)

83

83

12

意志動詞	無意志動詞
例) 読む、勉強する、食べる	例) 降る、光る、咲く、困る、
• 読め (命令) • 読んではいけない (禁止) • 読める (可能) • 読もう (勧誘、意志) • 読みたいです (希望)	• ? 困れ (命令) • ? 困ってはいけない (禁止) • ? 困れる (可能) • ? 困ろう (勧誘、意志) • ? 困りたいです (希望)

85

● (文脈で判断) ⇒「忘れる、入る、落とす等」 • 大学に<u>入る</u>。→ • この本なら小さいからバッグに<u>入る</u>。→ • 失敗したことは<u>忘れよう</u>。→ • 朝急いでいたので、教科書を<u>忘れてしまった</u>。→

86

※日本語教育での教え方

目的を表す

「ように (みん日Ⅱ 第36課)」 「ために (第42課)」

この2つの文の違いは？

将来、パリに住むために、貯金しています。

将来、パリに住めるように、貯金しています。

⇒

88

自動詞	他動詞
例) 窓が 開く 子どもが 起きた	例) 窓を 開ける 子どもを 起こした

90

13

<自他の対応>

例) (ドアを)開ける – (ドアが)開く
 (電気を)付ける – (電気が)付く

例) (本を)読む – (本が)読まれる ※
 (柿を)熟させる ※ – (柿が)熟す

91

91

<自他の対応による分類>

	自動詞	他動詞
①	(ドアが) 開く	(ドアを) 開ける
②	(柿が) 熟す (ろうかを) 走る	×
③	×	学生を ほめる 本を 読む
④	(議題が) 決定する	(議題を) 決定する

92

92

① 自他のペア

自動詞と他動詞は、

()

例) 体が 温まる – 体を 温める、
 電気が 付く – 電気を 付ける、
 スマホが 落ちる – スマホを 落とす

93

93

② 無対自動詞 (自動詞のみ)

・自然現象はひとりでに生じるので、

例) 熟す、実る、光る、疲れる、成長する、死ぬ
 (だれにでも自然に起きる現象)

例) 泳ぐ、歩く、走る、登る、行く

94

94

14

③無対他動詞（他動詞のみ）

動作はあるが、

例) 机をたたく、学生をほめる、本を読む、教科書を忘れる、
映画を見る

※ペアのある他動詞は

例) 木が倒れる一木を倒す、水がこぼれる一水をこぼす

96

96

④自他動詞（両方を兼ねる）

⇒中国語には自他の区別がないため

例) 衆議院が解散する。首相が衆議院を解散する。
時間が解決する。問題を解決する。

※ただし「漢語+する」がすべて自他動詞になるわけではない

98

98

自動詞＝無意志動詞？ 他動詞＝意志動詞？

・自動詞かつ無意志動詞である動詞が多い
なぜか？



⇒

※

例) 泣く、笑う、起きる、泳ぐ、立つ、座る、行く、寝る

99

99

R4 【試験Ⅲ】

問題3 次の文章を読み、下の問い（問1～5）に答えよ。

日本語の動詞は、自動詞と他動詞に分けられる。他動詞を認定する基準は二つある。一つ目は、他の対象に対する働きかけがあることであり、具体的には、対象のヲ格をとる動詞が他動詞と認定される。ただし、ヲ格をとる場合でも、(ア)のヲ格をとる動詞は自動詞に分類される。二つ目は、直接受身文を形成することである。

自動詞には意志的自動詞と非意志的自動詞があり、後者には、語幹の一部を共有し、
「Xガ自動詞」「YガXヲ他動詞」という関係のペアを持つものがある。自動詞と他動詞のペアがある動詞には、意味的な違いがある。一方、対応するペアがない場合は、文法的な形式で補われることがある。

自動詞と他動詞の習得には困難が伴うため、初級から上級まで繰り返し指導する必要がある。

101

15

問4 文章中の下線部Cに関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 自動詞は静的な動作を表し、他動詞は動的な状態を表す。
- 2 自動詞は継続的な動作を表し、他動詞は瞬間的な動作を表す。
- 3 自動詞は変化を表し、他動詞は変化の原因となる動作を表す。
- 4 自動詞は意志的な動作を表し、他動詞は非意志的な変化を表す。

103

問5 文章中の下線部Dに関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 対応する自動詞がない場合は、他動詞の受身形が自動詞の役割を担う。
- 2 対応する自動詞がない場合は、他動詞の使役形が自動詞の役割を担う。
- 3 対応する他動詞がない場合は、自動詞の使役受身形が他動詞の役割を担う。
- 4 対応する他動詞がない場合は、自動詞の可能形が他動詞の役割を担う。

105

アスペクトによる動詞の分類 ⇒ 第4章 構文論

- ① 状態動詞
- ② 継続動詞（動作動詞とも）
- ③ 瞬間動詞
- ④ 第4種の動詞

109

109

試 I - 16 令和2年度 試験 I 問題3

D 【学校文法と日本語教育文法】

学校教育の国語科で教えられる文法は、日本語教育の文法とは別に学校文法と呼ばれる。これは、(ア)の文法論をベースに、形態を重視したものになっている。そのため、学校文法における語の形態や品詞の扱い方や言語形式の単位の捉え方は、日本語教育のそれとは相違する。活用の扱いについても違いが見られる。例えば、日本語教育の文法における辞書形は、学校文法では二種類に呼び分けられる。また、学校文法の活用形は語として文中で単独で使える形にはなっていない。このような違いもあり、日本語教育の文法における活用の体系と学校文法の活用の体系とは大きく異なっている。

111

111

16

(16) 文章中の (ア) に入れるのに最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 山田孝雄
- 2 橋本進吉
- 3 三上章
- 4 時枝誠記

112

112

(17) 文章中の下線部A「学校文法における語の形態や品詞の扱い方」に関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 活用を持つ語を「自立語」と呼ぶ。
- 2 品詞の一つとして「指示詞」がある。
- 3 品詞は文節で区切った単位に等しい。
- 4 動詞を語幹と活用語尾に分ける。

114

114

(18) 文章中の下線部Bの例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 連体形と終止形
- 2 連用形と連体形
- 3 終止形と普通形
- 4 普通形と連用形

117

117

(19) 文章中の下線部Cの例として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 動詞の命令形
- 2 動詞の未然形
- 3 形容動詞の終止形
- 4 形容動詞の仮定形

119

119

17

20 文章中の下線部Dに関する記述として最も適当なものを、次の1～4の中から一つ選べ。

- 1 学校文法では、単独で文節を作れる語のうち活用するものを二つの品詞に分けている。
- 2 学校文法では、丁寧体に基づいて活用の体系が整理されている。
- 3 日本語教育の文法では、活用形の種類が学校文法より相対的に多い。
- 4 日本語教育の文法では、「見ない」と「高くない」の「ない」は異なる品詞である。

121